

「自民党「公明派」15年目の大罪

——集团的自衛権行使への「抵抗勢力サギ」

古川利明（元毎日新聞政治部総理番記者）著 第三書館

定価 926 円＋税 A5 判 192P 8 月 5 日刊

集团的自衛権の行使は、日本にとって重要な国が A 国に攻撃され

たとき、日本が攻撃されていなくても、A 国に対して日本が武力攻撃するということ。つまり、

1. A 国に対しての日本からの先制武力攻撃、宣戦布告であり、
2. A 国からの報復攻撃があり、
3. 日本と A 国の戦争が起こる。

それなのに、安倍首相は、曖昧な発言で、誤魔化し続けている。それをうわべだけの反対で実は容認し続けるのが、「平和の党」

こと公明党である。「自公政権」で戦争へ。国民の多くは、「尖閣防衛」の個別自衛権と、この集团的自衛権を混同している。

緊急出版！

公明党＝創価学会の自民党との執念の「ゲタの雪」連立政権の 15 年間で、この国をいかに危険なところへ、自民単独では到底達成でき得ないところへと導いて行ったのかを、明解に解説。

帖合

第三書館 FAX03-3208-6623 TEL6668

「自民党「公明派」15年目の大罪

定価 926 円＋税

ISBN978-4-8074-1450-5

冊